

石破氏、人口減「本気で歯止めを」

静岡で講演



「地方から創生する我が国の未来」をテーマに講演する石破茂地方創生担当相。7日午後、静岡市駿河区のグランシップ

「地方創生とものづくり特別講演会」(静岡新聞社・静岡放送主催、中部未来懇話会、静岡ものづくり未来応援団共催)が7日、静岡市駿河区のグランシップで開かれた。講演した石破茂地方創生担

当相は、東京の一極集中と地方の人口減少に強い危機感を示し、国を変える意欲ある地方の取り組みを後押しする考えを強調した。

石破氏は、本県の転出超過数が北海道に次いで2番目に多い状況を「意外に思っ」としながらも、「今、本気で人口減少に歯止めを掛けなければ、この国は持続可能性を失う」と危惧した。地方の雇用維持の手法について、「かつて地方を支えた公共投資や企業誘致では難しい。静岡なら航空機、医療の関連産業をどれだけ伸ばせるかが大きな柱になる」と述べた。

来年3月末までに全国自治体に策定を求めている今後5年間の地方版総合戦略については、「地域には日本を引っ張るものが必ずある。独自の経済、文化を踏まえ、この静岡で何をすべきか徹底的に考えてほしい」と述べ、16年度に創設予定の新型交付金などの財政支援策にも触れた。

講演に先立ち、御室健一郎県信用金庫協会会長が県内経済の現状を紹介した。